

宮城県高等学校PTA連合会 第3回 進路対策委員会 開催報告

平成28年11月28日(月)に、東北工業大学のご協力を得て、宮城県高等学校PTA連合会 第3回 進路対策委員会 が開催されました。

午後1時からの協議・報告では、本年度の活動報告や東北6県の取り組みなどが報告されました。また、次年度への申し送り事項を協議しました。その中で、私たち進路対策委員会が研修した内容を一般の会員の方に広く周知する方法はないだろうかということが取り上げられ、宮城県高等学校PTA連合会のホームページに活動報告を掲載してもらうようにしてはどうかということになり、次年度からといわず、今回から実施しようということになりました。

休憩後の研修では、東北工業大学の猿渡 学准教授、3年生の鈴木誠司さん、4年生の阿部千夏さんのお話を聞きました。

猿渡准教授からは、大学進学を考えるときに、大学卒業後に自分が就きたいと思う職業をよくイメージして学部・学科を選ぶことが大切だというお話を聞きました。大学入学後に学習内容と自分の目的が合致しないために学習意欲をなくしてしまう学生が多いということで、その問題を解決するために大学の中ではカウンセリング室の設置なども行っているが、これから進学先を考える高校生は、大学は通過点であることを意識して大学を選んでほしいと仰っていました。

3年生の鈴木誠司さんは、「入学した大学の中で、どういう活動をするかが大切だ」と仰っていました。東北工業大学は第2志望だったので、入学直後はあまりやる気が湧かなかったときもあったそうですが、学園祭実行委員として様々な活動をしているうちに、とても充実した学生生活を送ることができているということでした。4年生の阿部千夏さんは、いろいろな方の援助を受けながら就職先も希望のところに決まり、教職員免許や、電気工事士などの資格も取ることができたので、東北工大を選んで良かったとご自身の学生生活を振り返っておられました。お二人とも、充実した学生生活を送っておられて、その満足感と自信にあふれた堂々としたお話でした。

その後、建築科の授業や図書館などを見学させてもらい、閉会となりました。夏の第2回委員会では地方の中小企業を見学し、就職希望者に向けて参考になるようにと活動しましたが、今回は11月末なので、大学入試を控えている進学希望者に向けて何か参考になればと思い計画しました。この報告が、これから進路を考える県下の高校生、特に1・2年生にとって、何かの参考になれば幸いです。



研修の様子



授業見学の様子